

vol.6

表紙は週刊誌風に!!

Future Design

全20ページ!!
FIT-joinメンバーで一生懸命作りました!!
ぜひ手に取って読んでください!!
23年度もFIT-joinに乞うご期待!!

イラスト提供
モダンアート部部长
武田直也

2022年度活動報告 教職員インタビュー大特集

遠藤文人 助教 (電気工学科)
佐竹純二 准教授 (情報工学科)
松藤賢二郎 教授 (社会環境学科)

藤原昭二 次長 (学術支援機構)

春の訪れに耳を澄まして

学生アンケートに
ご協力お願いします!!

23年度入学の方
要チェック!

23年度
メンバー
募集中!

福工大の現状を日々徹底調査!

「学生」と「教員」を

connectする団体を目指して

Contents ▼

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| 1. FIT-joinとは | P2 | 5. 教員インタビュー | P10 ▶ P15 |
| 2. メンバー紹介 | P3 | 6. 職員インタビュー | P16 ▶ P17 |
| 3. 年間の活動 | P4 ▶ P7 | 7. Join-Talks | P18 |
| 4. 学生アンケート | P8 ▶ P9 | 8. 他団体の紹介 | P19 |

FIT-joinとは？

本学の授業改善を教員・職員・学生の
三位一体で改善する活動



●● 学びのコミュニティ作り ●●

FIT-joinは本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生を“つなぐ”活動によって本学での「学びのコミュニティづくり」の役割を担っている団体です。私たちは、**学生の本音を吸収し**、学生が感じていることを教職員に伝え、また教職員が考えていることや課題を**学生の視点から考え**、それを学生に伝える存在として活動しています。



学生FD FIT-join、Instagramはこちらから！ぜひ、フォローお願いします！今後の活動などを発信していきます！

FIT-join



ユーザーネーム：FIT_JOIN

代表より



2022年度FIT-join代表 辻田 敬梧

みなさんこんにちは！ FIT-join代表の辻田敬梧です。FIT-joinでは、主に学びのコミュニティを作る活動を行っており、joinメンバー一人ひとりが主体的に行動し、教員、職員と関わりながら学生の声を聞き大学をより良くしようと動いています。私は、コロナが流行していた時期に入学し、なかなか友だちができない状況の時にこの団体で良い先輩に出会い、いろんな活動をする中で社会人としての必要なスキルを身につけることができました。FIT-joinは成長できる環境が整っており、アルバイトやサークルでは体験できない貴重な体験が出来ます。もし、このFuture Designを読んで興味や挑戦したいと思ったら連絡下さい！学科・学年問いませんので是非一緒に活動しましょう！

メンバー



鶴嶋 真紅 (生命環境化学科 4年)
外薮 舞 (情報通信工学科 4年)
石坂 優 (情報通信工学科 4年)
谷口 慧峰 (情報システム工学科 4年)
辻田 敬梧 (知能機械工学科 3年)
西川 晃平 (知能機械工学科 3年)
坂本 康汰 (知能機械工学科 3年)
大野 浩輝 (知能機械工学科 3年)
西本 光兵 (情報工学科 3年)
陣内 美桜 (社会環境学科 3年)

近藤 佑亮 (知能機械工学科 2年)
有富 功大 (知能機械工学科 2年)
千賀 英 (電気工学科 2年)
高城 凜 (電気工学科 2年)
武田 直也 (電気工学科 2年)
中間野乃華 (情報通信工学科 2年)
垂門 誠也 (社会環境学科 2年)
竹ノ内健真 (知能機械工学科 1年)
水月 一尊 (情報工学科 1年)
田村 俊介 (情報通信工学専攻 1年)

Years Activities 年間の活動

2022年度は学生と教職員をつなぐ活動や
学生同士のコミュニティを広げる活動を行いました。

新入生オリエンテーションFIT-inセミナー

準備期間

FIT-joinは、2022年度新入生オリエンテーションのFIT-inセミナーにて「友達作りの取組」の企画運営を担当しました。新入生が大学生活をスムーズにスタートしてほしい、安心して話せる友達を作ってほしいとの思いからプログラムを検討し、この企画には、FIT隊2名も一緒に検討を進めました。今年のFIT-inセミナーは昨年度よりも時間が多く確保できた分、少しでも充実した取組になるように学生メンバー全員で一生懸命考えました。途中、行き詰まることもありましたが、その分学生メンバーも成長できました。



当日

4月4日(月)～4月6日(水)に2022年度FIT-inセミナーを実施しました。FIT-inセミナーでは、先生・先輩在学生から大学での学びについての話や卒業生講話、FIT-joinがメインに担当した「友達作りの取組」が行われました。最初は緊張していた新入生の皆さんでしたが、私たちが考えたゲームをやっていくうちに打ち解けることができていたようです。最後の福工大クイズでは、チーム内で協力しながら優勝を目指していました。



学生団体サミット

5月26日（木）に学生団体サミットを開催しました。福工大には、学生自治会、FIT隊、FIT-join、FIT女子会、GSLという5つの学生団体が存在しています。今回の学生団体サミットでは、各団体の活動紹介などを通し、お互いの団体についての理解を深め、「大学における学生団体って何？」というテーマでワークショップを行いました。

学生団体サミットを通し、「学生団体とは大学と学生の架け橋でありサポートを行う組織である」、「イベント等の企画をしたりプレゼンをしたりする機会が多いため成長の場である」などの意見が聞かれ、団体の意義や方向性を再認識できました。また、団体を越えてコラボするなど学生同士の横の連携もしていきたいというような意見も出ました。



委嘱状交付式

6月29日（水）、FD推進機構全学教育開発WGの第2部にて、学生FD FIT-joinが2022年度の活動計画を発表し、学生20名に委嘱状が交付されました。

2022年度は昨年度の問題点を踏まえ、FIT-joinの活動をより多くの学生に知ってもらうこと、イベントへの参加者を増やすこと、授業形態の変化の中で先生方の考えや想いを学生に伝える活動、また、その逆の活動を課題として取り組むことが発表されました。委嘱状交付式では、FIT-joinメンバーへ委嘱状が手渡され、「授業の受講者である学生の視点から気づくことを教職員に伝え、授業改善につながる活動を続けてください」とFIT-joinメンバーの活躍への期待が伝えられました。



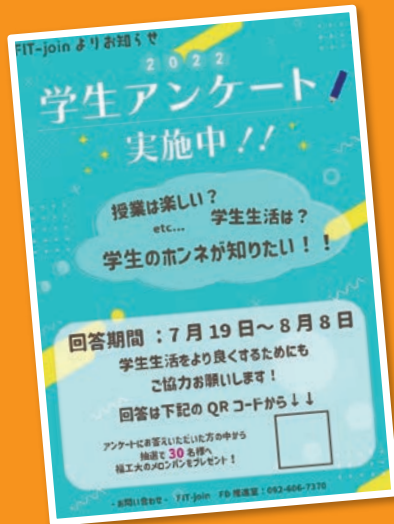
Years Activities

年間の活動

学生アンケート

7月19日(火)～8月8日(月)学生アンケートを実施しました。今年度は大学生生活の満足度や学生がより良く学べるために何が必要なのかについて、授業、学習環境、キャンパス内での交流の3つの観点からアンケートを実施しました。結果は8～9ページに掲載しています。

学生みなさん、学生アンケートへのご回答ありがとうございました。皆様のおかげでたくさん声を拾うことができました。成績評価基準を統一してほしい、学生同士の交流の機会を増やしてほしい、時間割の見直しが必要ではないかなど、様々な意見があり、教職員の方々も驚いた様子でした。先生方も学生の意見に注目しています。アンケートを通して学生も教員も大学での生活が楽しく送れるよう、私たちFIT-joinは学生の意見を拾い続けるのでこれからもアンケートの回答をよろしくお祈いします!



FD Café

9月20日(火)「よりよい学びについて話をしよう!」をテーマに、第26回FD Caféを開催しました。今年度のFDカフェでは、学生アンケートを基に授業、交流、環境の3つに分けて先生方と話し合いを行いました。例えば、テスト結果のフィードバックをしてほしい、授業を通しての交流の機会を増やしてほしいなど学生がより良いキャンパスライフを送れるよう意見を出しました。

この結果が反映されるのはまだ先のこともかもしれませんが、後輩たちのためにも福工大をより良い大学にしていきたいと思っています。



教員インタビュー

学生による教員インタビューを行いました。今回は学習・教育支援を担当されている事務局の方にもインタビューを行いました。インタビューを行い、本誌に掲載することによって学生が先生方や授業・研究に興味を持ち、より良い学びの促進、そしてタテのつながりを深めようといった目的があります。今年度は各学部から3名の先生と学術支援機構から1名の方に研究の内容から授業や学生支援での工夫、座右の銘、趣味など様々な質問をさせて頂きました。このインタビューを通して普段の授業や生活ではわからない教職員の一面や考え方を知ることができました。



Join-Talks

Join-Talksとはアメリカで行われているTED (TechnologyEntertainmentDesign) を参考にして、発表者が持つ知識、経験、興味関心があることをテーマにスピーチを行い、参加者が専門の学問だけでなく他分野に視野を広げることの大切さや面白さを知ってもらうことを目的としています。また、学生が発表する場合は、自分の意見や考えを発信する能力の向上を目指す機会となることも目的としています。今回は、第1回目「就活に向けた面接」を開催しました。詳細は18ページをご覧ください。今後もみなさんのためになるような企画を開催していく予定なのでぜひ足を運びに来て下さい！



2022
年度版

学生に聞いた 学生アンケート 報告結果

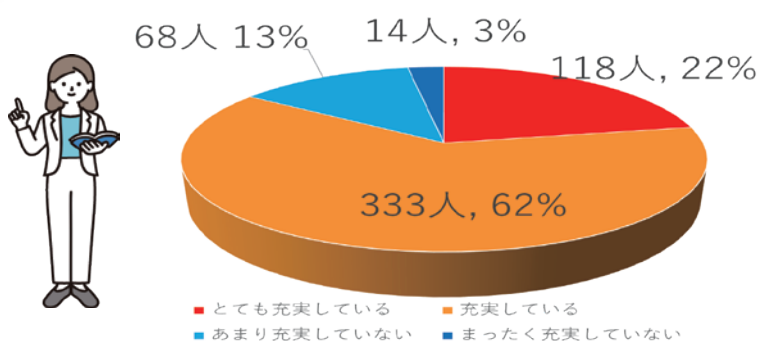
このアンケートは、大学生活について、授業や学習環境、キャンパス内での交流を中心に意見を把握し、その結果を基に、学生がより良い学びができるような環境をつくることを目的としています。ここでは、アンケートの結果を簡単に紹介したいと思います。

*回答期間：7月19日～8月8日 回答数:533件

学生に聞きました！

Q.1

現在の大学生生活は充実していますか？



・とても充実している
・充実している
84%(451人)

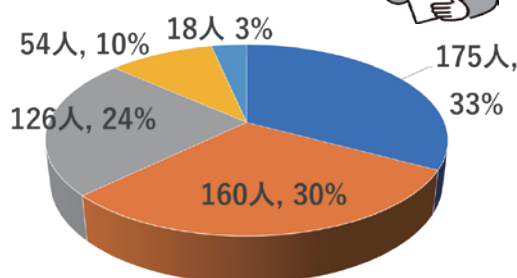
・あまり充実していない
・まったく充実していない
16%(82人)

Q.2

以下の選択肢で理解が深まったと思うものは？

選択肢

- 毎回の授業での小テスト
- 期末試験勉強
- 事前事後のレポート提出
- 中間テスト
- その他



その他

- ・グループワーク
- ・日々の講義
- ・コミュニケーション学習
- ・授業動画

Q.3

今までの大学生活で身についたことはありますか？



Q.4

開催してほしい講演会、イベントなどがありますか？

1. 他学年他学科との交流会
2. プログラミングやアプリ開発などの相談会
3. 金融機関の講演会、勉強会

などなど



ここからはアンケート結果より **学生が求めていること** も紹介していきたいと思います。

* こちらの内容は **FDカフェ** で先生方に改善を求めていることを伝えました。

A 成績評価での学生の意見

- **交通機関の影響**で欠席したときの対応を統一化してほしい。
- 追試の**原則8割換算**を新型コロナウイルス流行の点から撤廃（調整）してほしい。
- シラバスの評価項目ごとの点数がほしい。



観点 \ 方法	理解度（達成度）確認テスト・学期末試験	小テスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	その他
知識・技能（A・C・D）	○	○	○		
倫理・責任（B）					
汎用的能力（E・F）					
態度・行動（G・H・I）			○		○
評価割合	80	10	5		5
例	65/80点	8/10点	4/5点		3/5点

合計80/100点

点数評価されることで、自分ができなかったことがわかる!!

次に活用できる!

B 交流面での学生の意見

- **学生と教員の距離**を1、2年の時から縮める。
- 実験では班員を単元ごとに変える。
- **グループワーク**をもっと授業の中に入れる（課題解決など）。
- 他クラス、他学科、他学部との交流の場を増やす。
- 各種イベントの実施。



普段、縁のない人や知識と出会える

新たな自分を発見できるかも!?

C 環境面での学生の意見

- (コイン) ロッカーの設置をしてほしい。
- ランチメニューをmy-FITから知りたい。
- 図書館の利用時間を21時までにしてほしい。
- 食事をできる場所を増やしてほしい。

- 図書館の利用時間がテスト期間だけ21時になった
- 図書館に個人ブースが増えた

まとめ

学生アンケートに答えて頂いた方ありがとうございます。みなさんのおかげで、福岡工業大学の改善すべき点などを把握することができました。これからも学生のみなさんと、より良い学びの場を作っていきます。

授業

1. 科目間の連携
2. 成績評価基準の統一化
3. テスト

6. グループワークの実施

交流

4. 他クラス、他学科、他学部との交流
5. 学生と先生の距離を縮める

環境

7. 各ツールのアップデート
8. 時間割の見直し
9. 学内施設の改善

遠藤 文人 助教



学部学科：工学部 電気工学科

研究分野：制御工学

主な担当科目：電気工学概論、論理表現、プログラミング言語、メカトロニクスⅠ
ロボット工学、電気工学フレッシュマン演習、卒業研究

1 Q 授業を行う上で大切にしていることは何ですか。

A 学生に楽しんでもらえる授業をできるようにになりたいと思っています。授業では学生が授業をどこまで理解しているかを常に意識して把握できるように努めています。学生の理解度を把握するために、最近はFIT-AIMを活用して、授業でわかったこと、わからなかったことや改善してほしいことを書かせています。学習がスムーズにできる学生だけではなく、理解に時間がかかる学生も頑張っ取り組んでいけるような授業を心がけています。最終的には学生がどこまで理解できたかをアウトプットできるようにしています。



2 Q 苦しいとき、つらいときどのように立ち向かったか、克服したのか教えてください。

A 大学院の時は研究で大変でしたが、今行っている研究や授業がこれから先にもどう活かされているかを考えて、モチベーションアップにつながるよう周りの環境を整えていました。

3 Q 大学で学生に学んでおいてほしいことを教えてください。

A 自分が入ったサークルでは、授業で学んだことを応用して活動できることがとてもいい経験だったので、みんなにも勉強だけではなく、身に付けたスキルや学んだことを応用できる活動は行ってほしいと思います。学生時代の時間があるうちにいろいろ考えて取り組んでほしいですね。

4 Q 先生の学生時代頑張ったことは何ですか？

A 私自身機械工学科出身で、学生フォーミュラーのサークルに所属して、フォーミュラーカーを作っていました。1年生から入って、3年間かけてみんなで設計、製作をしていましたよ。速さだけではなくコストなどを評価する大会に向けて頑張っていました。授業はどうだったかな・・・(笑)



5 Q 先生の目標は何ですか？

A 福工大に赴任して研究と教育を頑張っていますが、今はまだ研究の規模が小さくて、研究室の大学院生も少ないので、もっと面白い研究をして、学生が楽しんでくれる研究室を作りたいなと思っています。

6 Q 学生団体の活動についてどう思われていますか？

A このような活動は他の大学にはない取り組みで、本学に来て昨年度からFDCaféに参加してみんなの活動を知りました。今年度もFDCaféに参加して、今回は学生からの提案があったのでとても良かったと思いました。

7 Q 最近行った海外はどこですか。また、行ってみたい国はどこですか。

A 学会でアメリカのロサンゼルスに行ってきました。いつか、イギリスかアイルランドに行って、有名なビールを飲んでみたいですね。

8 Q 最後に学生に一言お願いします。

A 学生時代にいろんなことに興味をもって、チャレンジしてほしいと思います。

担当メンバーより

電気工学科 2年 武田 直也

とても楽しくインタビューできて良かったです。インタビューを通じて、自分ももっと学生の中に色々なことに興味を持って挑戦したいと思いました。

電気工学科 2年 千賀 英

インタビューをして、先生の授業で大切にしていることや学生生活におけるアドバイスなどたくさん聞けて良かったです。また授業の話だけでなく、先生の学生時代の思い出やFIT-joinのことなども話せて良かったです。

Interview 佐竹 純二 准教授

学部学科：情報工学部 情報工学科

研究分野：動画像処理

主な担当科目：デジタル信号処理、論理回路、情報工学実験Ⅲ
卒業研究



1 Q 授業を行う上で大切にしていることは何ですか。

A 講義を行うのはこの大学が初めてで、しっかりした授業をしようと思っていました。教科書を読むだけでは授業に出る必要がないと思うので、話を聞く価値がある授業をしようというのは心がけています。そのために学生目線に立って教科書では足りない情報を補足したり、確認テストをこまめに行うようにして後から勉強するよりも授業を真面目に受けるのが一番効率の良い勉強になるようにしています。

2 Q 取り組まれている研究について教えてください。

A メインは「画像処理」です。カメラで撮影した画像から人物や物体を認識したりするのが基本で、その応用として「移動ロボット」や「見守りシステム」を開発しています。カメラやセンサで周囲を認識して、人の役に立つモノづくりを行っています。

3 Q 現在の研究に進もうと思った理由を教えてください。

A 高校の時に「写真部」に所属していたのがきっかけで、大学4年の研究室配属の時にカメラや画像処理の研究をしている研究室に入ったからです。

4 Q その研究の魅力は何ですか。

A 実際に動いて人の役に立ち、研究の成果がわかりやすい点だと思います。

5 Q やりがいを感じることは何ですか

A プログラムがきちんと思い通りに動いた時です。

6 Q 苦しいとき、つらいときにどのように立ち向かったか、克服したのか教えてください。

A 「仕事が大変」という場合でも、僕自身は黙々と作業することが苦にならないタイプなのでひたすら黙々とやっています。逆に詰めすぎて倒れてしまわないように気を付けています。

7 Q 現在の目標を教えてください。

A 機械学習の技術がどんどん進んでいるので、研究に取り入れていきたいと思っています。

さらに研究を重ねてもっともっと人のためになるものを作っていきたいです。



8 **Q** 座右の銘は何ですか。

A 特には無いですが、詰めすぎてしまわないように時々、「何とかなる」と思って力を抜くようにしています。

9 **Q** 趣味、休日の過ごし方を教えてください

A 家族と公園に行ったり、ご飯を食べに行ったりどこかに出かけるようになっています。

10 **Q** 大学で学生に学んでおいてほしいことを教えてください。

A 授業を受けるだけではなく、アルバイトなどを通して様々な経験をすることで社会常識を身に付けておいてほしいと思っています。

担当メンバーより

情報工学科 3年 西本 光兵

先生の誠実な性格がよく表れているお話が聞けました。

人のためになるモノづくりをしたいという点で大変共感しました。

情報通信工学科 4年 石坂 優

効率的に勉強ができるように構成を考えて講義をされていることが伝わり、とても学生思いだと思いました。

電気工学科 2年 高城 凛

詰めすぎず、何とかできるようにするというところからメリハリの大切さが改めて分かりました。また、経験が大事ということで、自分自身も卒業までの後2年間でできるだけ多くのことに挑戦したいと思いました。



松藤 賢二郎 教授

学部学科：社会環境学部 社会環境学科

研究分野：経営学

主な担当科目：経営学概論、マーケティング論Ⅰ・Ⅱ
環境経営論、経営情報論、卒業研究



1 Q 授業する上で大切にしていること、工夫していることを教えてください。

A 受講している学生の様子を見ながら授業を行っています。内容が決まっている経営学、マーケティングは知識詰め込み型の授業であるため、退屈になって寝てしまうことがあります。しっかり学習してもらうために経営に関する実例を用いたり、ビジネスゲームを取り入れたり、座学を減らす「アクティブラーニング」を意識して授業をしています。また、しっかりと学生とコミュニケーションをとり、孤立しない人を作らないようにもしています。

2 Q 今までにやってよかったことはありますか。

A 人の前で話す取り組みをしたことです。大学生時代に、元々は政治家になるつもりで、積極的に演説の大会に参加しました。現在は先生として大勢の生徒の前で教えていますので、職業の方向は違いましたが、人前で緊張しなくなったので、過去にやっていてよかったなと思っています。

3 Q 人生で挫折したことはありますか。苦しいとき、つらいときにどのように立ち向かったか、克服したのか教えてください。

A 特にはないです。自分は悩みこむタイプではないので、常に切り替えて深く悩みこまないようにしています。仕事内で一度だけ納得のいかない出来事はありませんでしたが、その時は自分のキャリアをしっかり積み、みんなに認められるように努力をしてきました。自分なりの解決策を見つけ、実践していくことが大切だと考えています。

4 Q これからやりたいことはありますか。

A 医学博士をとることです。経営に関する特定の分野での研究はしていなかったので、病院の経営について研究しようと考えています。今の病院は医学だけでなく経営力も求められるので、ニーズに対応するために踏み込んでいます。



5 **Q** 座右の銘は何ですか。

A 天網恢恢疎にして漏らさず。悪いことをすると見つからないようなことでもちゃんと見つかって、ばれてしまうよという意味です。何か悪いことをしていれば、後ろめたさや不安から自分から自信がなくなってしまう。胸を張って生きられるように常々に頑張っています。

6 **Q** 大金が手に入ったら何をしたいですか。

A 広い家に住みたいです。[仕事は辞める]という考えもありますが、私はそのつもりはないですね。今の仕事は学生から様々な考えや意見を得ることができるので、良い刺激になっています。

7 **Q** 大学で学生に学んでおいてほしいことを教えてください。

A 人間性について学んでほしいと思っています。社会に出て就職するとやはり人間性や社会性が重要になってきます。専門知識よりも決断力やリーダーシップ、協調性を大学で身に付けてほしいです。自分のゼミではこれらの力を伸ばすために、学生主体を重視した活動に取り組んだり、ゼミ合宿を行ったりなど、「学生の主体性に委ねる」というスタイルで活動しています。

担当メンバーより

社会環境学科 3年 陣内 美桜

私は実際に松藤先生のゼミに所属しているのですが、普段ゼミでは聞けない話も聞くことができたので、このような機会を設けてよかったと感じました。

社会環境学科 2年 垂門 誠也

松藤先生の目標や心理を深く知ることができ、授業に対する視野が広がりました。これからの大学生活をどのように過ごすか考える良いきっかけにもなり、良い経験をさせて頂きました。

藤原 昭二 次長



所属：学術支援機構長付次長（モノづくりセンター、エクステンションセンター
情報基盤センター情報企画課、図書館事務室）

1 Q 情報基盤センターやエクステンションセンターではどのような業務を行っているのか、教えてください。

A 情報基盤センターでは、主に大学全体のITの運用を管理しています。学生がうまくmy FITやWi-Fi、Microsoft365などのインフラを活用することで、より高度な学修や、学修の成果を高めてもらえるように業務にあたっています。近年では、「ITは動いて当たり前」というような感覚があるため、しっかりと運用できるように管理しています。さらに学生・教職員に対して、ツールをうまく活用しながらIT利用に関する相談に乗っています。エクステンションセンター*では、主に資格取得の支援を行っています。福岡工業大学では、ITパスポートや基本情報技術者、TOEIC、CGCAD、簿記検定などの資格取得を推進しています。各種資格取得は対策できるものなので、前もって対策講義を行うことで、資格取得をサポートしています。学生の皆さんへのサポートに加えて、地域の皆さまにも多彩な文化教養・健康増進講座を開講することで地域貢献に繋がる取組も行っていきます。

*2023.4 エクステンションセンターは、社会連携センターに名称変更

2 Q 情報教育について、力を入れていることや心がけていることを教えてください。

A 先生方が各学科で授業を展開する上で使いやすいようにITのツール、学内ネットワークを24時間、365日、正しく動くように管理することです。授業が円滑に行えるのは、全てそのような環境が整っているから出ています。自宅からの学習が出来るように、オンラインと対面を組み合わせたような授業では、オンライン授業が正しく行えるようにサポートをしています。

3 Q 職員として学生支援を行う上で大切にしていることを教えてください。

A 学生と大人という立場の違いがありますが、その垣根を感じさせないように、学生は社会人の一員であると捉えて学生と接するように心掛けています。イメージとしては、学生は福工大職員の顧客（＝職員が提供するサービスの利用者）であると捉えることで、困っていることの本質を正確に把握し、より真摯な対応に努めています。さらに、Q&Aの対応を迅速に行うことで学生の皆さんが困っていることをより早く解決するようにしています。PCインフォスクエアとの連携など身近な人に聴ける手厚いサポートを提供しています。

4 Q 大学で働いていく中で、福工大に来て良かったと思うことを教えてください。

A 福工大に勤務する前は、SE（＝システムエンジニア）として働いていました。SE時代は商品・システムを提供する販売側、福工大に勤務し始めてからは商品・システムを利用するユーザー側であり、その両方を経験することで、現在の仕事にもユーザー目線で取り組むことができていると思います。また、どのようなことが学生・教職員の役に立つのかを考えることや、学生の成長を間近で見ることができる点も福工大に来て良かったと思えることです。



5 **Q** 苦しいとき、つらいときにどのように立ち向かったか、克服したのか教えてください。

A 何事も楽しむことにしています。苦しいこととか、つらいこととかはその瞬間は苦しくても、乗り越えて当たり前になれば苦しいことではなくなります。乗り越えるまでの努力はもちろん必要ですが、それを乗り越えた先はそれが当たり前になります。難しいことを乗り越えたらまた難しいことが起こったときに結構気楽に望めますよ。これは学生の皆さんにも思ってほしいですけど、難しいこと、苦しいことには逃げずに立ち向かって、かつ、一人でできないことはどんどん人に頼ってほしいですね。

6 **Q** 座右の銘は何ですか。

A 信頼残高です。信頼関係を築く上で、できないことを断るのではなく、この程度ならできますよ、とか折衷案を挙げるなどで信頼を貯金して信頼残高を貯めていくことが大切です。これの積み重ねで、自分が何かしたいとき、困ったときに信頼残高があれば、周りの人が助けてくれます。そのために信頼残高を貯めておくことが大切です。

7 **Q** 大学で学生に学んでおいてほしいことを教えてください。

A 自分が所属している学科のカリキュラムをしっかり学んでほしいです。その上で、自分がどんなことをやりたいかを早くから考えて、目標を立てるといいと思います。ただ単位を取るだけではなく、どんなことを学びたい、どういう仕事に就きたい、ということも早くから考えると、学んでいることの意味合いが違ってくるし、意欲も湧いてくると思います。とにかく、早めに目標を立てることが一番かなと思います。また、人間は一人では生きていけないので、友人をたくさん作っている人との対話をする機会を積極的に作ると思います。将来、社会に出るとチームで動くことが当たり前になってきます。最近では会社に出勤せず、オンライン上でそれぞれ仕事をするので、そういう多様な働き方でのコミュニケーション能力が必要です。デジタル上のコミュニケーションでも誤解を受けずに理解し合えるかということに気をつけてほしいです。社会に出る上で、大人たちとのコミュニケーションマナーを在学中の段階で身につけておいてほしいです。

担当メンバーより

知能機械工学科 3年 大野 浩輝

普段の業務のことや学生との関わり方について、詳しく知ることができ、貴重な時間になりました。つらいときでも何事も楽しむという気持ちで取り組んでいるという部分が印象的で、自分もそのような考えで挑戦しようと思いました。

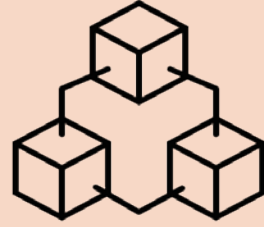
知能機械工学科 2年 近藤 佑亮

座右の銘として「信頼残高」という言葉を挙げていただき、信頼残高の重要性について学ぶことができました。私はFIT-join以外にも様々な団体に所属しているので、信頼残高を大切にしていきたいと感じました。

知能機械工学科 1年 竹ノ内 健真

今回、1年生として初めてインタビューに参加したのですが、普段生活してなかなか知り得ない学校の内部のことや、目上の職員さんの話を聞けてとても勉強になりました。私もポジティブに活動していこうと思います。

Join-Talks



工学部電子情報学科 4年 牧 海成さん



Join-Talksとは参加者が他分野の面白さや大切さを、発表者は自分の意見や考えを発信する能力の向上を目的として、興味関心があることをテーマにスピーチを行うイベントです。

2022年12月14日(水)に第1回目となる「Join-Talks」を開催しました。

今回は企業の面接通過率94%という実績をもつ、牧さんに「就活に向けた面接対策」について発表していただきました。経験者という視点から面接における心得や最も必要だと感じた力は何かを教えていただきました。

参加者の声



「新しい発想から自分とは違う考えを聞いて良かった」

「実際に経験したことを基に話を聞くことができ、就活に役に立つと思う」等

次回の「第2回目Join-Talks」は・・・

「お金の使い方講座」の開催を予定しています。身近となった保険やクレジットの使い方を学ぶチャンスですので、ぜひ参加してみませんか？

予定日：2023年4月26日(水) 5限

会場：図書室プレゼンテーションコート

他団体の紹介

GSL

GSL学生メンバーは、Global Student Lounge (GSL) を拠点に、アメリカ人職員のもとで活動する国際連携室直轄の学生団体です。私達は、福工大生と留学生の交流の架け橋となり、グローバルマインドを養う機会を多くの学生達に提供することを目指して活動しています。

主な活動内容は、GSLで開催する国際交流イベントの企画・運営、企画された国際交流イベントへの参加、本学学生への参加促進活動やSNSを活用した広報です。GSLで世界中の仲間と共に活動しませんか。



FIT女子会

FIT女子会は女子のリーダー育成を目的とし、イベントの企画・運営と東部地域大学連携での活動を行っています。

イベントは、大学生活が楽しめるものや役立つものを企画した後、何度もミーティングを重ねて、より良いものに仕上げていきます。これまで、新入生歓迎会（写真）や就活座談会を開催しました。

東部地域大学連携では、九州産業大学・福岡女子大学と警察署の方と一緒に、偽電話詐欺や性犯罪の対策を地域の方に呼びかけています。

FIT隊

私たちは福岡工業大学の学生組織FIT隊です。

現在1年生13名、2年生17名、3年生12名、4年生20名の合計62名で活動しています。オープンキャンパスの企画運営やInstagramを使って、福岡工業大学の魅力を伝えています。「働く、学ぶ、成長する」をモットーに日々、楽しく活動しています。コロナ禍のオープンキャンパスでは、大学の施設や福工大生の学校生活の紹介動画を隊員が制作し、高校生や保護者の方に向けて配信しました。来年度は高校生や保護者の方を対面で迎え入れます。InstagramではFIT隊員の交流会や活動報告会、新隊員募集説明会など様々な活動を投稿してきました。これからもFIT隊は福工大生の魅力や活動を発信していきますのでよろしくお願いします！



学生自治会

私たち学生自治会は、学生自治会実行局、代議員会、学術文化会、体育会本部の4つにわかれ、福工大生が楽しい大学生活を送れるようにするために日々活動しています。主な活動内容としては、立花祭という学園祭の運営や、文化系サークルの活動発表の場である学文祭などが挙げられます。名前だけ聞くと堅苦しい団体だと思われそうですが、実際は球技大や交流会など楽しいイベントがたくさんあります。興味があれば気軽にサークル棟1階自治会室まで来てください！



FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

発行元：福岡工業大学 FD推進機構

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 E棟3階

TEL：092-606-7370 FAX：092-606-7379

Mail：o-fd@fit.ac.jp Web：http://www.fit.ac.jp/

発行日：2023年3月17日

編集・作成：FIT-join(学生FD)・FD推進機構・FutureDesign制作チーム